

# 紀宝の珍百景

見つけた！

その65

見つけたあなたに幸せが訪れる!?

## ハート型の石



01



02

01. 趣味のガーデニングとハート型の石。  
02. やわらかい雰囲気ハート型の石。

今回の珍百景は、見つけたあなたに幸せが訪れる! 「ハート型の石」をご紹介します。鵜殿地区の東いつえさんから「ハート型の石を見つけたので、珍百景にどうですか?」とのご連絡をいただき取材に行くこと、庭のところで多くのハート型の石がお出迎えてくれました。

東さんは、歩くこととガーデニングが趣味で、お庭に合う石を探していたところ、鵜殿の海岸を歩いているときに、たまたまハート型の石を見つけたそうです。

東さんは「最初、見つけたときは、とても温かい気持ちになりました。まだあるかもしれないと探していると、夢中になり、気がつくときたくさん集まっていました」と話してくれました。

写真越しではありませんが、この広報を見たあなたにも温かい気持ちが届き、幸せが訪れることでしょう。

### 珍百景を募集!!

みなさんが見つけた珍百景を募集しています。「なんやこれ?」って思わず言ってしまうような、珍百景情報がありましたら、ぜひ役場企画調整課広報係(☎33-0334)までご連絡ください。お待ちしております。

## つむぎつむぎ

### 特集で学んだこと

今月号では、紀伊半島大水害から10年を迎える節目の年ということで、災害の記憶を風化させず、家族と災害について話すきっかけになればとの想いで、特集を組みました。改めて取材に協力していただいたみなさん、本当にありがとうございました。

今回特集を組み、いろいろな人に取材をさせてもらう中で、災害時の情報の大切さを切に感じました。自分は町の広報係として災害時、住民のみなさんに情報を伝える立場ですが、どのように情報を伝える、どのように行動するべきなのか考えさせられました。いざというときに自分に何ができるか、日ごろから災害時の広報について考え、準備を怠らず、みなさんに情報を発信できればと思います。

(広報の役割、難しさを感じた 田中健太郎)

### 10年前を振り返り

当時、私は中学一年生でした。親戚の家が危ないというので、高台にある私の家に避難してきたことを覚えています。結果的に、その家は天井まで浸水し、家の中は土石流で汚れ、物があちろちろに散乱していたと聞きました。

当時、手伝えることがあまりなく、留守番をしていたので、被災地の状況を詳しく知りませんでした。今回の取材を通して、被害を受けた方がたくさんいること、そしてたくさんの人に支えられ今があることを改めて感じました。

今回の特集が、防災・減災について再度考えるきっかけとなり、当時は知らない子どもたちに災害の様子が少ないでも伝われば幸いです。

(災害が二度と起らないことを願う 大森菜央)



広報担当  
大森菜央



広報担当  
田中健太郎